# EDO-EPS
Expanded Polystyrol Construction Method
発泡スチロール土木工法

簡易壁面EPS工法のスタンダード! H鋼が不要!工期短縮・工費削減!

特許取得済

# J-ウォールブロック

ウォールブロック®は株式会社JSPの登録商標です

**J-ウォールブロックは、**
**2025年4月にNETIS『VE』**
**に認定されました。**

登録番号:
## QS-200006-VE

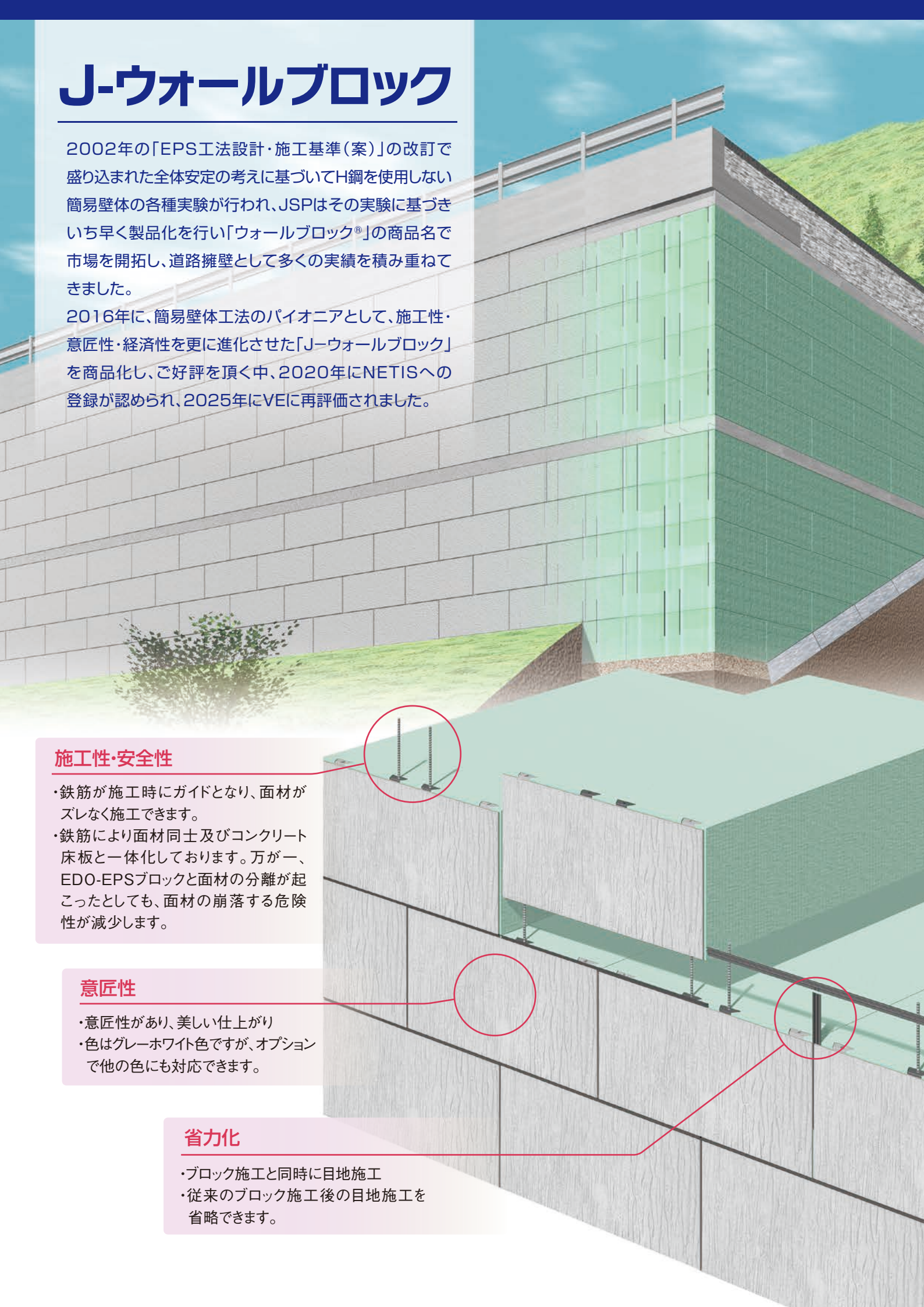
NETIS-VEは新技術として登録された技術「A」の中から、
施工業者の事後評価により、
継続的な活用効果調査は必要がなくとも
確立されていると判断された技術です。

ジェイ エス ピー
JSP

# J-ウォールブロック

2002年の「EPS工法設計・施工基準（案）」の改訂で盛り込まれた全体安定の考えに基づいてH鋼を使用しない簡易壁体の各種実験が行われ、JSPはその実験に基づきいち早く製品化を行い「ウォールブロック®」の商品名で市場を開拓し、道路擁壁として多くの実績を積み重ねてきました。

2016年に、簡易壁体工法のパイオニアとして、施工性・意匠性・経済性を更に進化させた「J-ウォールブロック」を商品化し、ご好評を頂く中、2020年にNETISへの登録が認められ、2025年にVEに再評価されました。



## 施工性・安全性

・鉄筋が施工時にガイドとなり、面材がズレなく施工できます。
・鉄筋により面材同士及びコンクリート床板と一体化しております。万が一、EDO-EPSブロックと面材の分離が起こったとしても、面材の崩落する危険性が減少します。

## 意匠性

・意匠性があり、美しい仕上がり
・色はグレーホワイト色ですが、オプションで他の色にも対応できます。

## 省力化

・ブロック施工と同時に目地施工
・従来のブロック施工後の目地施工を省略できます。

# J-ウォールブロック工法の特徴

## J-ウォールブロック工法の特徴詳細　～工期短縮～

H鋼基礎やH鋼建て込みやが不要なため、施工手順が簡素化され、工期短縮が可能です。

1 土工

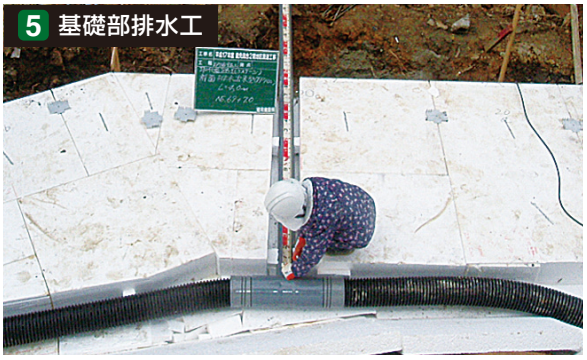
2 基礎工

H鋼基礎・H鋼建て込み

3 J−ウォールブロック設置

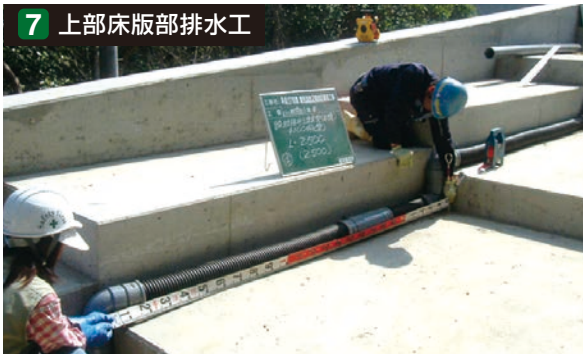
4 緊結金具・L型ピン設置

5 基礎部排水工



6 コンクリート床版

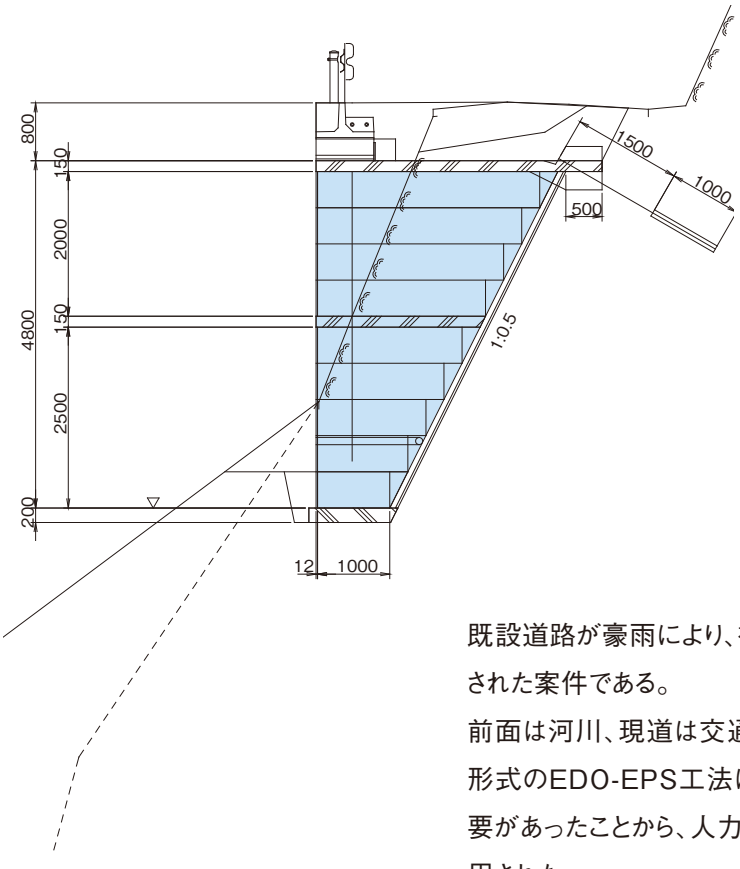
7 上部床版部排水工



8 目地工

9 完成供用

# J-ウォールブロックの施工例



既設道路が豪雨により、被災したため、復旧にEDO-EPS工法が採用された案件である。

前面は河川、現道は交通の確保が困難な状況であった。従来のH鋼形式のEDO-EPS工法はH鋼の建て込み、搬入で重機を使用する必要があったことから、人力で施工が可能なJ-ウォールブロック工法が採用された。

# J-ウォールブロックの壁面材

## 〈繊維補強軽量セメント板〉

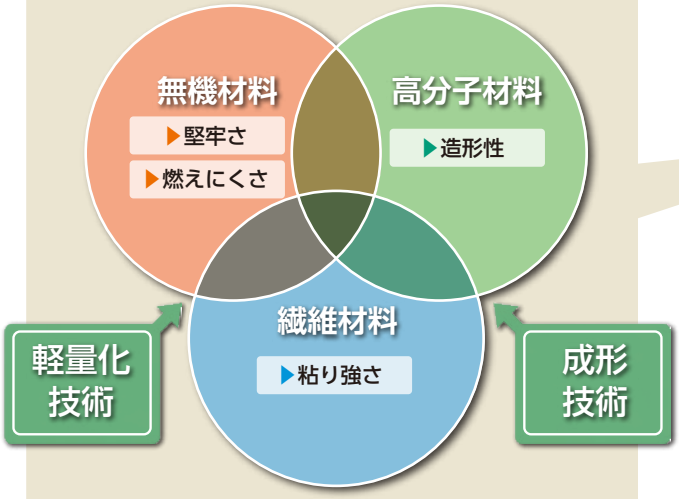
繊維素材の混合で優れた強靱性を実現。また、水の浸入を防ぎ、割れにくく安定した強さを長期間維持します。

軽　量

割れにくい

耐水性

■面材の特長




**カラーバリエーションは2タイプ**
※その他のカラーについてはお問い合わせください。

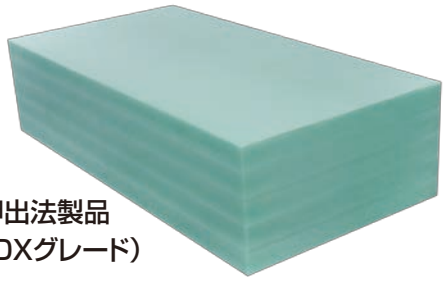
標準色（グレーホワイト）

景観対応色（ダークブラウン）
※受注生産品

# J-ウォールブロックの構造材〈スチロダイアブロック〉

発泡スチロール土木工法（EDO-EPS工法）に用いられる大型の発泡スチロール（EDO-EPS）ブロックは製法から大きく二分されます。製品の一般的な大きさは高さ500mm×幅1000mm×長さ2000mmになります。

型内法製品
（Dグレード）



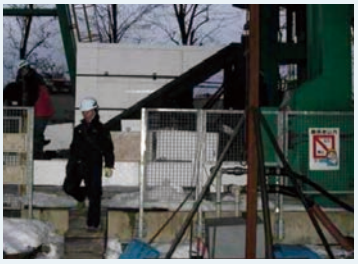
押出法製品
（DXグレード）

EPD Hub

| 項　目 | | 試験方法 | 単位 | 型内法 | | | | 押出法 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | D-16 | D-20 | D-25 | D-30 | DX-24H | DX-29 | DX-35 | DX-45 |
| 単位体積重量 | | JIS K-7222 | kN/m³ | 0.16 | 0.20 | 0.25 | 0.30 | 0.24 | 0.29 | 0.35 | 0.45 |
| 許容圧縮応力 | | -- | kN/m² | 35 | 50 | 70 | 90 | 100 | 140 | 200 | 350 |
| 品質管理時の圧縮応力（10%ひずみ） | | JIS K-7220 | kN/m² | 70以上 | 100以上 | 140以上 | 180以上 | 200以上 | 280以上 | 400以上 | 700以上 |
| 燃焼性 | 燃焼試験 | JIS A-9521 | — | 合格 | | | | | | | |
| | 酸素指数 | JIS K-7201 酸素指数法B法 | — | 26以上 | | | | | | | |

※押出法製品は100mm厚部材を接着して、500mm厚の製品となります。

## 各種実証実験



【(独)北海道開発土木研究所・発泡スチロール土木工法開発機構】
1／5模型による振動台模型実験

【(独)北海道開発土木研究所・発泡スチロール土木工法開発機構】
1年間常時微動観測、交通荷重載荷実験、ガードレール衝突実験など

【発泡スチロール土木工法開発機構・JSP】
レベル2地震想定の振動実験

【発泡スチロール土木工法開発機構・JSP】
交通荷重想定の鉛直振動実験

【JSP】
繰り返し載荷試験

【JSP】
火災時想定実験

## EDO-EPSブロック(J-ウォールブロック、スチロダイアブロック®)の取り扱い上の注意点

**■ 火気・高温厳禁**
難燃処理が施されておりますが、直火に当たると燃えます。高温(70℃)になると軟化変形しますので火気厳禁、高温化での保管・ご使用は避けてください。

**■ 油分・石油類厳禁**
酸・アルカリ類には対薬品性がありますが、ガソリンや灯油などの石油製品で溶解します。油分・石油類厳禁で保管・ご使用ください。

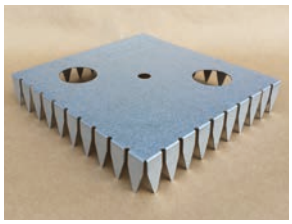
**■ 太陽光厳禁**
太陽光に含まれる紫外線で徐々に表面が変色劣化します。太陽光下での保管はシートで覆ってください。

**■ 廃棄上の注意**
各地方自治体などの廃棄物処理方法に従って処理してください。

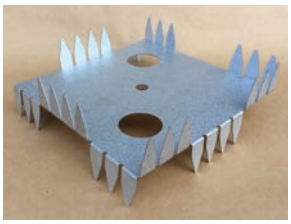
**■ 品質保証**
EDO-EPS工法に用いる発泡スチロールブロックには発泡スチロール土木工法開発機構の品質規格適合認定シールが貼られています。EDO-EPS工法には発泡スチロール土木工法開発機構規格適合製品をご使用ください。

**■ 設計基準**
EDO-EPS工法はEDO-EPS工法設計・施工基準(案)に基づいて設計を行います。

L型ピン



緊結金具(片爪)



緊結金具(両爪)


株式会社 JSP 建築土木資材事業部
ホームページ www.co-jsp.co.jp

土木資材部 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2(新日石ビル)
TEL 03-6212-6364 FAX 03-6212-6369
札幌営業所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-1(サンメモリアビル)
TEL 011-231-2681(代) FAX 011-231-7850
仙台営業所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1(青葉通パークビルディング)
TEL 022-212-3156 FAX 022-266-9583
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦3-4-6(桜通大津第一生命ビル)
TEL 052-962-3225(代) FAX 052-962-3252
大阪営業所 〒541-0053 大阪市中央区本町1-6-16(いちご堺筋本町ビル)
TEL 06-6264-7906 FAX 06-6264-7913
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-17(オフィスニューガイア博多駅前ビル)
TEL 092-411-6854(代) FAX 092-474-2706

■お問い合せ先



VEGETABLE OIL INK このカタログは再生紙を使用しています。



2026.04.0000